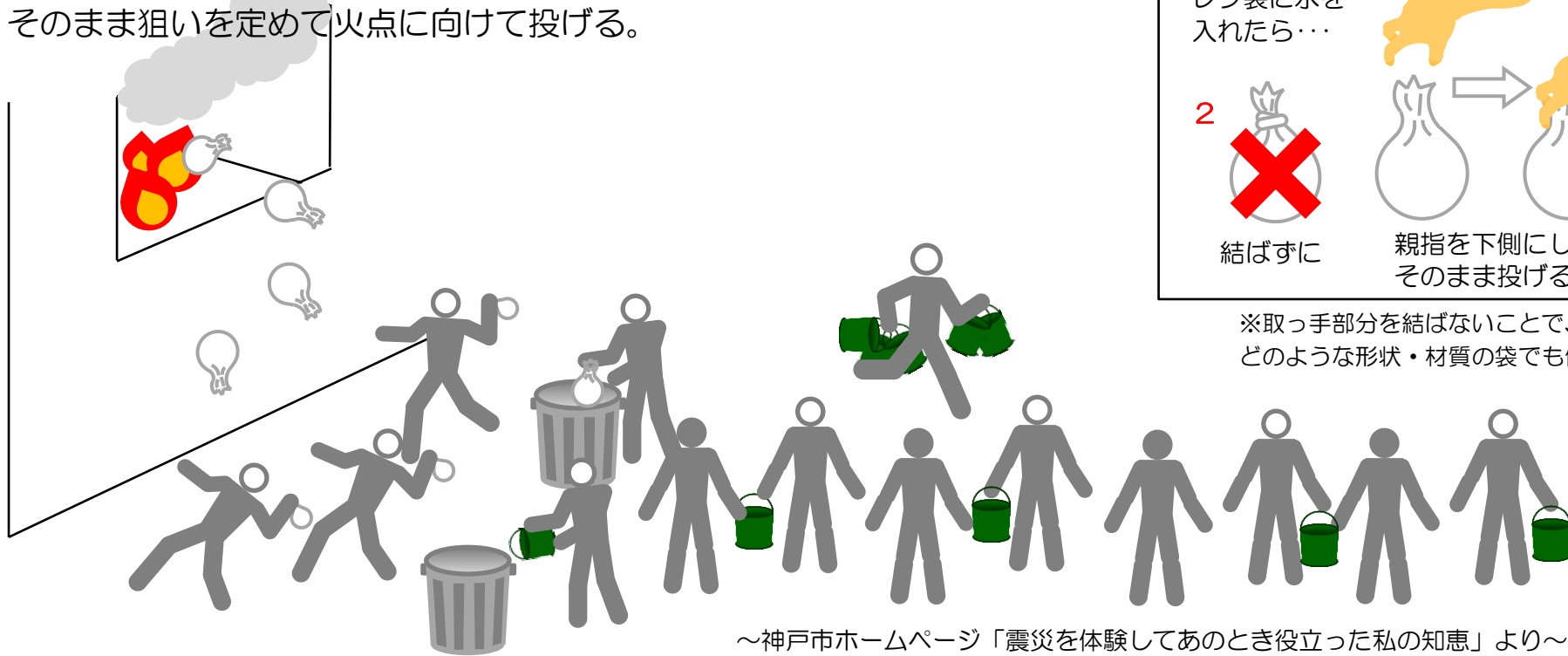


いつもの防災訓練にちょっとプラスで効果UP！ 1.バケツリレー+（プラス）

- 高所や遠方などの、バケツリレーだけでは火点まで水が届かない状況を想定。
- 水源から火点の近くまでは通常のバケツリレーにより水を搬送、一旦、大きなポリバケツ等に水を溜め、そこからレジ袋等に水を入れて水袋を作り、そのまま狙いを定めて火点に向けて投げる。



※大きなポリバケツが2つあれば、バケツリレーから水を溜める動作と、レジ袋に水を汲む動作を別のポリバケツででき、動きがよりスムーズ

～神戸市ホームページ「震災を体験してあのとき役立った私の知恵」より～

阪神大震災発生の当日未明。兵庫区の松本地区より火の手が上がり、遅々とはかどらない消火活動の中、炎は会下山地区（松本地区の北側）にも達した。私の教え子の一人の自宅にも火は燃え移ろうとしていた。入り組んだ道路事情もあり、思うように作業は進まない状況に、教え子の友人がある行動に出た。野球部に所属するその友人は、どこからか小さなビニール袋を調達してきた。近くの井戸水から汲み上げた水をそのビニール袋に入れて端をくくり、ボールのようなものを作り上げた。そして、延焼していない友人宅の壁や炎の最前線めがけて投げつけたのである。それを見たクラスメイトや野球部員は一斉にそのボールを作り、次から次へと炎に投げつけるという消火活動を行った。何時間にも及ぶ死闘の末、風向きの変動もあり、教え子の自宅は延焼を免れたのである。『ビニール袋消火ボール』、実に有効な消火につながる道具となった。（三田市、35歳、男性）